

Chapter 7

この章で学ぶこと

学習前に習得すべきポイントを理解しておき、
学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

- | | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 1 | グラフの作成手順を理解する。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.167 |
| 2 | 円グラフを作成できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.168 |
| 3 | 円グラフの構成要素を理解する。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.171 |
| 4 | グラフにタイトルを入力できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.172 |
| 5 | グラフの位置やサイズを調整できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.173 |
| 6 | グラフにスタイルを設定して、グラフ全体のデザインを変更できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.175 |
| 7 | グラフの色を変更できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.176 |
| 8 | 円グラフから要素を切り離して強調できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.177 |
| 9 | 縦棒グラフを作成できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.180 |
| 10 | 縦棒グラフの構成要素を理解する。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.182 |
| 11 | グラフの場所を変更できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.184 |
| 12 | グラフの項目軸の基準を、行にするか列にするかを切り替えることができる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.185 |
| 13 | グラフの種類を変更できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.186 |
| 14 | グラフに必要な要素を、個別に配置できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.187 |
| 15 | グラフの要素に対して、書式を設定できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.189 |
| 16 | グラフフィルターを使って、必要なデータに絞り込むことができる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.192 |
| 17 | おすすめグラフを作成できる。 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
→ P.193 |

Step 1

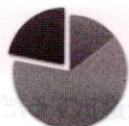
作成するグラフを確認する

1 作成するグラフの確認

次のようなグラフを作成しましょう。

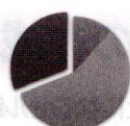
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	年齢区分別の人口推移と将来人口									
2	年齢区分	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
3	0~14歳	2,807	2,482	2,751	2,249	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
4	15~64歳	6,000	7,157	7,884	8,590	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
5	65歳以上	535	733	1,065	1,490	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485
6	総人口	9,342	10,372	11,700	12,329	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216

2010年人口構成



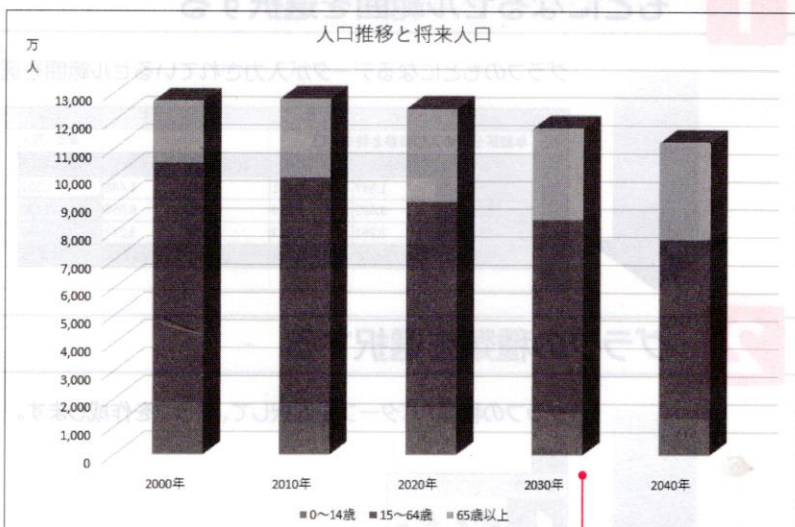
■0~14歳 ■15~64歳 ■65歳以上

2040年人口構成



■0~14歳 ■15~64歳 ■65歳以上

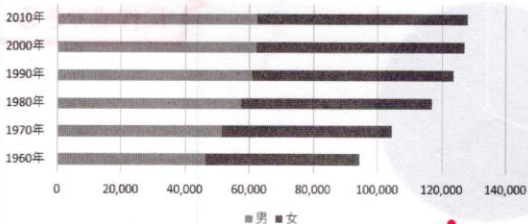
円グラフの作成



縦棒グラフの作成

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	男女別の人口推移									
2	年次	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年			
3	男	46,300	51,369	57,594	60,697	62,111	62,328			
4	女	48,001	53,296	59,467	62,914	64,815	65,730			
5	総人口	94,301	104,665	117,061	123,611	126,926	128,058			

人口推移



横棒グラフの作成

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

索引

1 グラフ機能

表のデータをもとに、簡単にグラフを作成できます。グラフはデータを視覚的に表現できるため、データを比較したり傾向を分析したりするのに適しています。

Excelには、縦棒・横棒・折れ線・円などの基本のグラフが用意されています。さらに、基本の各グラフには、形状をアレンジしたパターンが複数用意されています。

2 グラフの作成手順

グラフのもとになるセル範囲とグラフの種類を選択するだけで、グラフは簡単に作成できます。グラフを作成する基本的な手順は、次のとおりです。

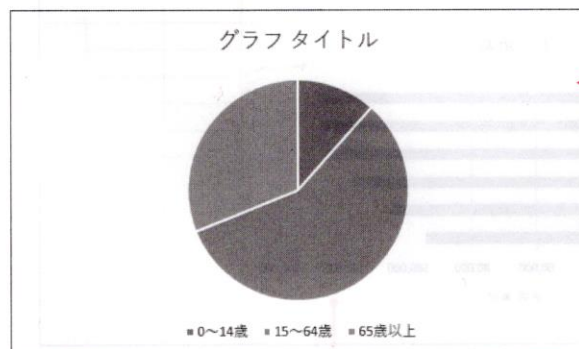
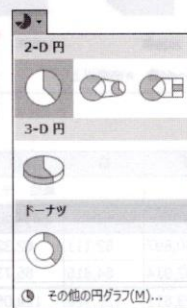
1 もとになるセル範囲を選択する

グラフのもとになるデータが入力されているセル範囲を選択します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1		年齢区分別の人口推移と将来人口					単位：万人		
2		年齢区分	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年		
3		0～14歳	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301		
4		15～64歳	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430		
5		65歳以上	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485		
6		総人口	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216		
7									

2 グラフの種類を選択する

グラフの種類・パターンを選択して、グラフを作成します。



グラフが簡単に作成できる

Step 3

円グラフを作成する

1 円グラフの作成

「円グラフ」は、全体に対して各項目がどれくらいの割合を占めるかを表現するときに使います。円グラフを作成しましょう。

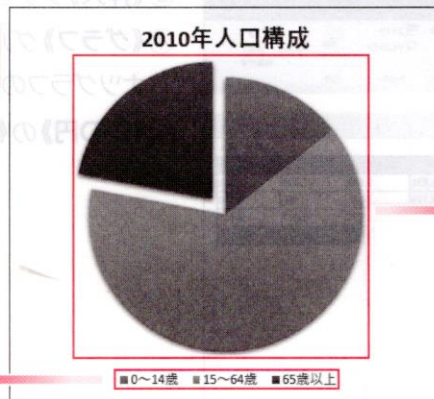
1 セル範囲の選択

グラフを作成する場合、まず、グラフのもとになるセル範囲を選択します。円グラフの場合、次のようにセル範囲を選択します。

●2010年の円グラフを作成する場合

年齢区分	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
0～14歳	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
15～64歳	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
65歳以上	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485
総人口	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216

扇型の割合を説明する項目

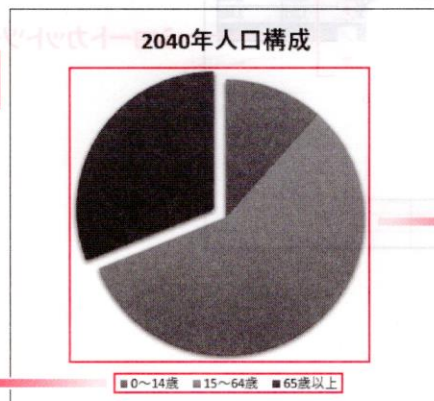


扇型の割合のもとになる数値

●2040年の円グラフを作成する場合

年齢区分	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
0～14歳	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
15～64歳	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
65歳以上	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485
総人口	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216

扇型の割合を説明する項目



扇型の割合のもとになる数値

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

索引

2 円グラフの作成

表のデータをもとに、「年齢区分別の人口構成比」を表す円グラフを作成しましょう。
「2010年」の数値をもとにグラフを作成します。

File OPEN

フォルダー「第7章」のブック「グラフの作成-1」を開いておきましょう。

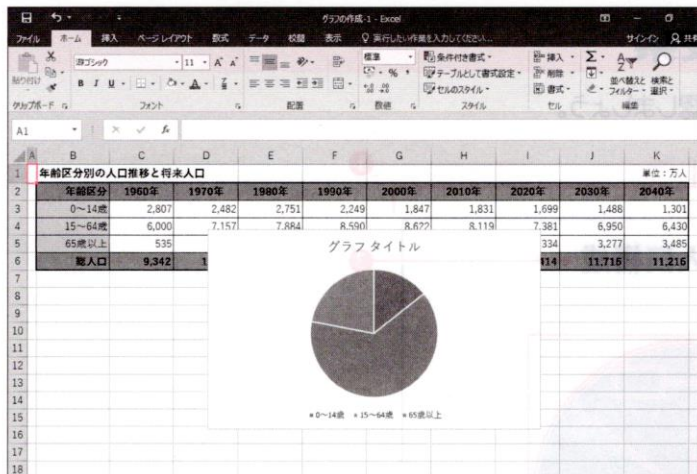
年齢区分	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
0～14歳	2,807	2,482	2,751	2,249	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
15～64歳	6,000	7,157	7,884	8,590	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
65歳以上	535	733	1,065	1,490	2,201	2,613	3,334	3,277	3,485
総人口	9,342	10,372	11,700	12,329	12,670	12,765	12,414	11,715	11,216

- ① セル範囲【B3:B5】を選択します。
- ② **[Ctrl]**を押しながら、セル範囲【H3:H5】を選択します。

- ③ 《挿入》タブを選択します。
- ④ 《グラフ》グループの (円またはドーナツグラフの挿入) をクリックします。
- ⑤ 《2-D円》の《円》をクリックします。

円グラフが作成されます。
グラフの右側に「ショートカットツール」が表示され、リボンに《グラフツール》の《デザイン》タブと《書式》タブが表示されます。

ショートカットツール



グラフが選択されている状態になっているので、選択を解除します。

⑥任意のセルをクリックします。

グラフの選択が解除されます。

POINT ▶▶▶

ショートカットツール

グラフを選択すると、グラフの右側に3つのボタンが表示されます。ボタンの名称と役割は、次のとおりです。

- ① グラフ要素**
グラフのタイトルや凡例などのグラフ要素の表示・非表示を切り替えたり、表示位置を変更したりします。
- ② グラフスタイル**
グラフのスタイルや配色を変更します。
- ③ グラフフィルター**
グラフに表示するデータを絞り込みます。

POINT ▶▶▶

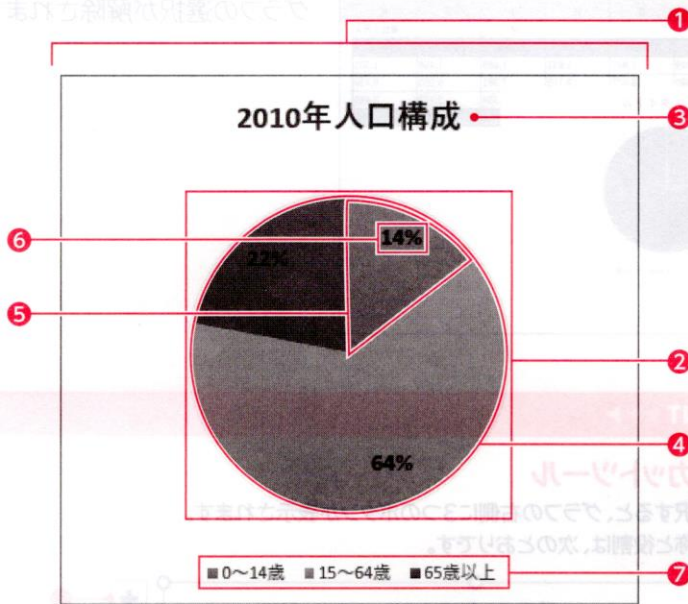
《グラフツール》の《デザイン》タブと《書式》タブ

グラフを選択すると、リボンに《グラフツール》の《デザイン》タブと《書式》タブが表示され、グラフに関するコマンドが使用できる状態になります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
総合問題
付録1
付録2
付録3
付録4
索引

2 円グラフの構成要素

円グラフを構成する要素を確認しましょう。



① グラフエリア

グラフ全体の領域です。すべての要素が含まれます。

② プロットエリア

円グラフの領域です。

③ グラフタイトル

グラフのタイトルです。

④ データ系列

もともとなる数値を視覚的に表すすべての扇型です。

⑤ データ要素

もともとなる数値を視覚的に表す個々の扇型です。

⑥ データラベル

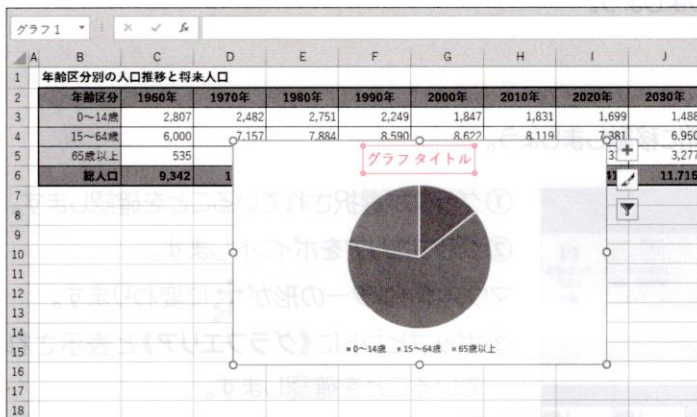
データ要素を説明する文字列です。

⑦ 凡例

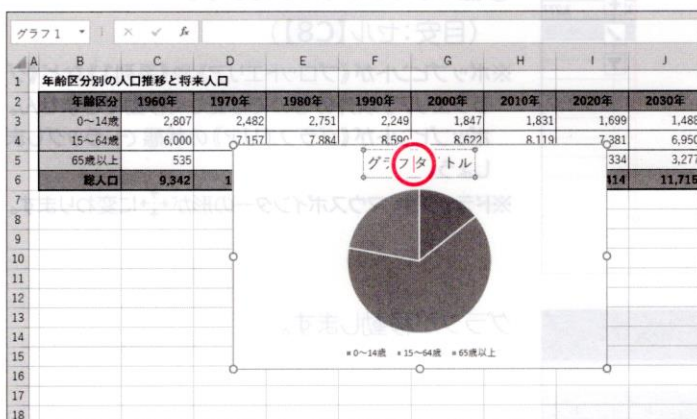
データ要素に割り当てられた色を識別するための情報です。

3 グラフタイトルの入力

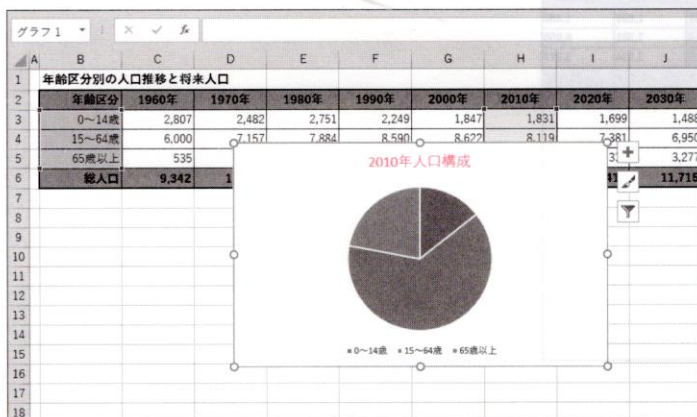
グラフタイトルに「2010年人口構成」と入力しましょう。



- ① グラフタイトルをクリックします。
※ポップヒントに《グラフタイトル》と表示されることを確認してクリックしましょう。
グラフタイトルが選択されます。



- ② グラフタイトルを再度クリックします。
グラフタイトルが編集状態になり、カーソルが表示されます。



- ③ 「グラフタイトル」を削除し、「2010年人口構成」と入力します。
- ④ グラフタイトル以外の場所をクリックします。
グラフタイトルが確定されます。

POINT ▶▶▶

グラフ要素の選択

グラフを編集する場合、まず対象となる要素を選択し、次にその要素に対して処理を行います。グラフ上の要素は、クリックすると選択できます。
要素をポイントすると、ポップヒントに要素名が表示されます。複数の要素が重なっている箇所や要素の面積が小さい箇所は、選択するときにポップヒントで確認するようにしましょう。要素の選択ミスを防ぐことができます。

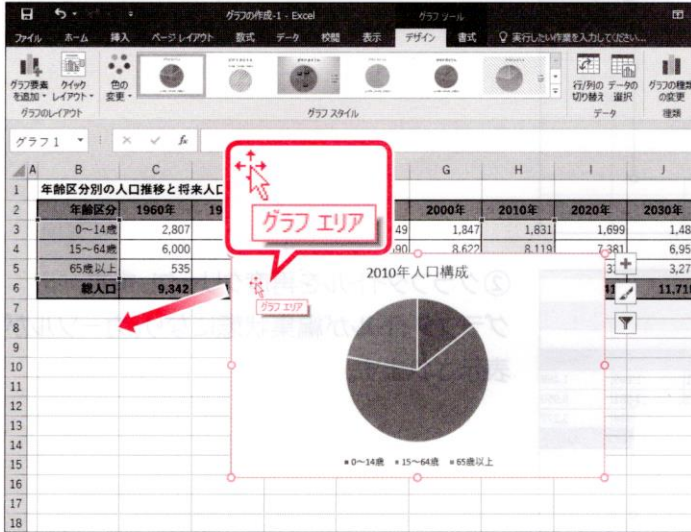
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 総合問題
- 付録1
- 付録2
- 付録3
- 付録4
- 索引


4 グラフの移動とサイズ変更

グラフは、作成後に位置やサイズを調整できます。
 グラフの位置とサイズを調整しましょう。


1 グラフの移動

グラフをシート上の適切な場所に移動しましょう。

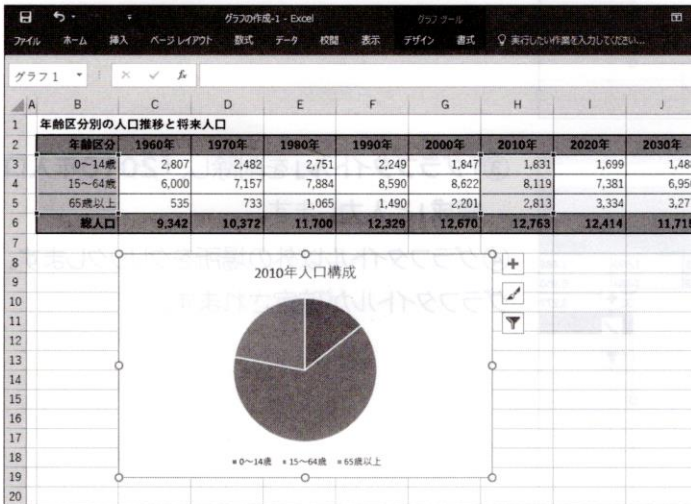


- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② グラフエリアをポイントします。
マウスポインターの形が  に変わります。
- ③ ポップヒントに《グラフエリア》と表示されていることを確認します。
- ④ 図のようにドラッグします。

(目安:セル【C8】)

※ポップヒントが《プロットエリア》や《系列1》など《グラフエリア》以外のもものでは正しく移動できません。
 ポップヒントが《グラフエリア》の状態ではドラッグしましょう。
 ※ドラッグ中、マウスポインターの形が  に変わります。

グラフが移動します。

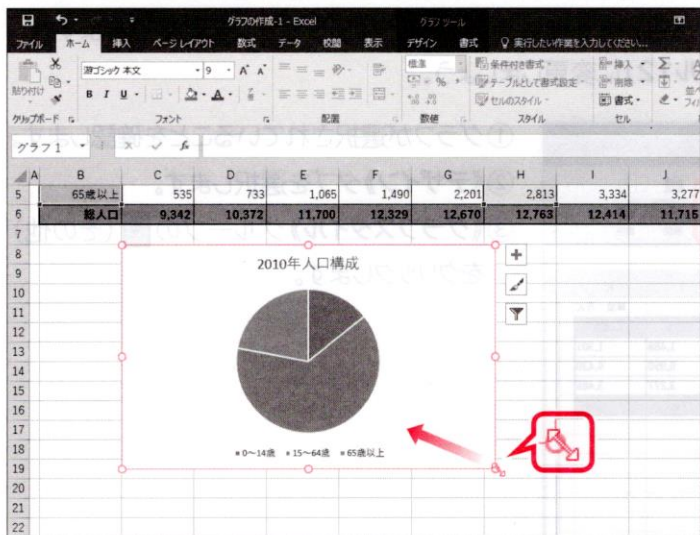


POINT


図表の要素を移動する際は、必ず「グラフエリア」を選択する必要があります。そうでなければ、図表の位置やサイズを正しく調整できません。

2 グラフのサイズ変更

グラフのサイズを縮小しましょう。




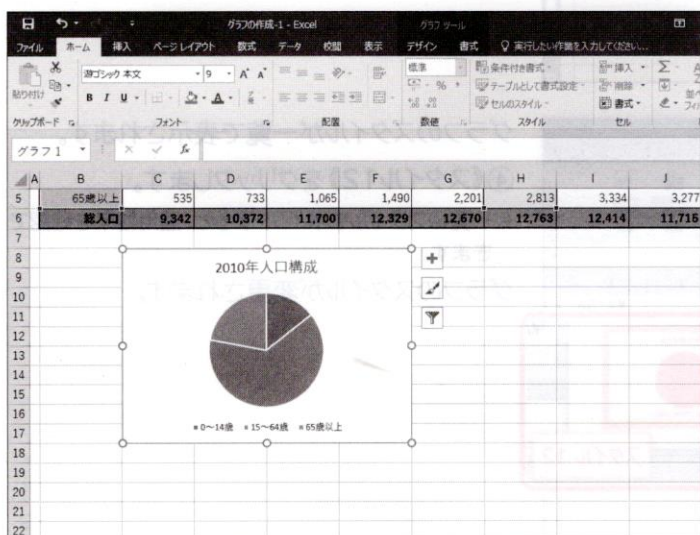
① グラフが選択されていることを確認します。
※グラフがすべて表示されていない場合は、下にスクロールして調整します。

② グラフエリア右下をポイントします。
マウスポインターの形がに変わります。

③ 図のようにドラッグします。

(目安:セル【F17】)

※ドラッグ中、マウスポインターの形がに変わります。



グラフのサイズが縮小されます。



POINT ▶▶▶

グラフの配置

[Alt] を押しながら、グラフの移動やサイズ変更を行うと、セルの枠線に合わせて配置されます。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

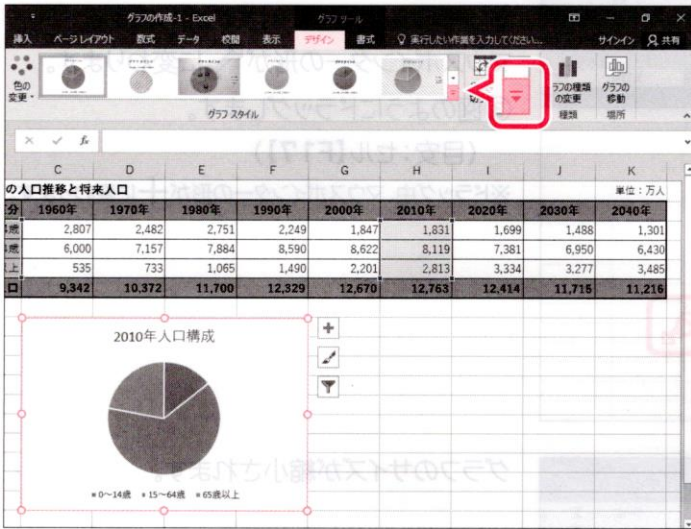
付録3

付録4

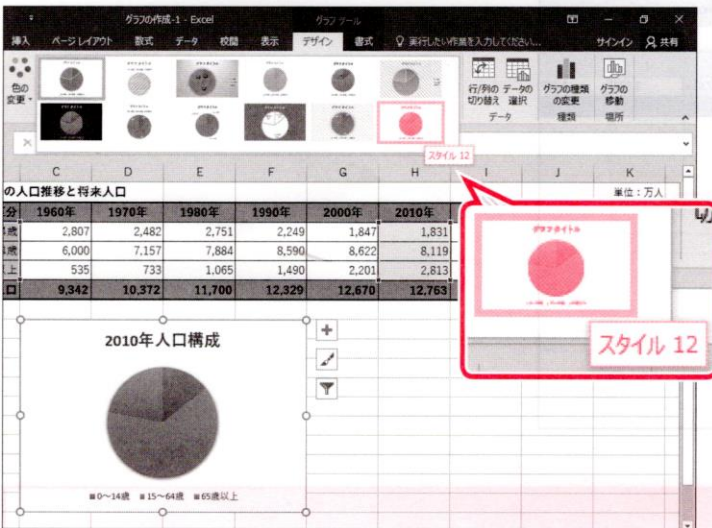
索引

5 グラフのスタイルの変更

Excelのグラフには、グラフ要素の配置や背景の色、効果などの組み合わせが「スタイル」として用意されています。一覧から選択するだけで、グラフ全体のデザインを変更できます。円グラフを影の付いた「スタイル12」に変更しましょう。




- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② 《デザイン》タブを選択します。
- ③ 《グラフスタイル》グループの ▾ (その他) をクリックします。



- グラフのスタイルが一覧で表示されます。
- ④ 《スタイル12》をクリックします。
- ※一覧のスタイルをポイントすると、適用結果を確認できます。
グラフのスタイルが変更されます。



その他の方法(グラフのスタイルの変更)

◆ グラフを選択→ショートカットツールの  (グラフスタイル) → 《スタイル》 → 一覧から選択

6 グラフの色の変更

Excelのグラフには、データ要素ごとの配色がいくつか用意されています。この配色を使うと、グラフの色を瞬時に変更できます。

グラフの色を「色2」に変更しましょう。

① グラフが選択されていることを確認します。

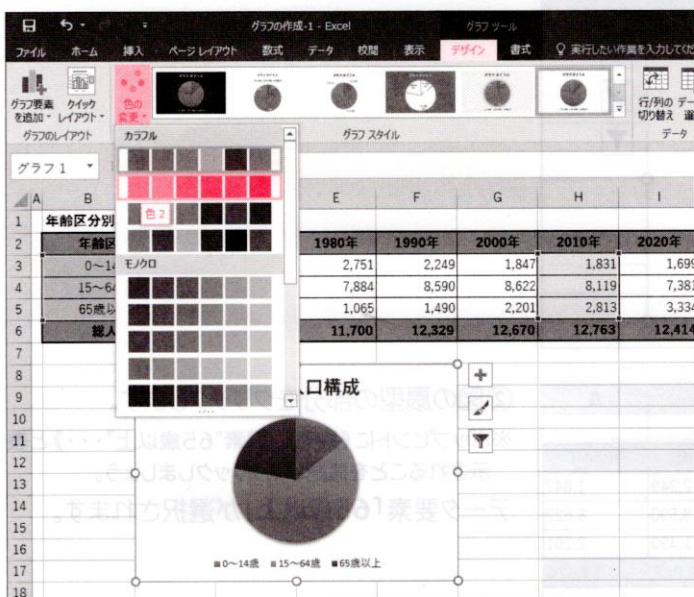


② 《デザイン》タブを選択します。

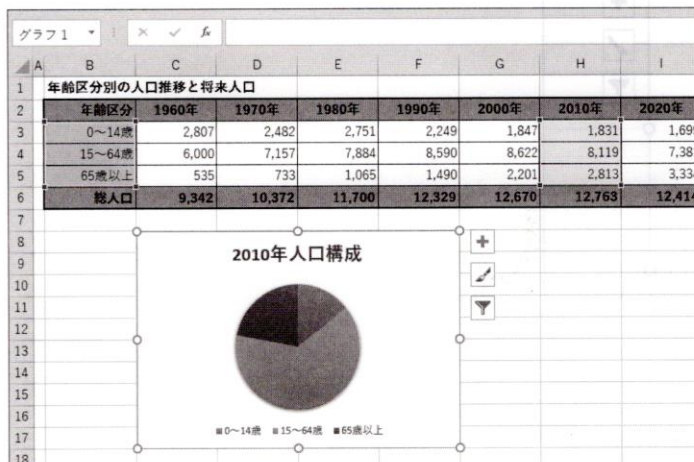
③ 《グラフスタイル》グループの「色2」(グラフクイックカラー)をクリックします。

④ 《カラフル》の《色2》をクリックします。

※一覧の配色をポイントすると、適用結果を確認できます。



グラフの色が変更されます。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

索引



その他の方法(グラフの色の変更)

◆グラフを選択→ショートカットツールの (グラフスタイル) →《色》→一覧から選択



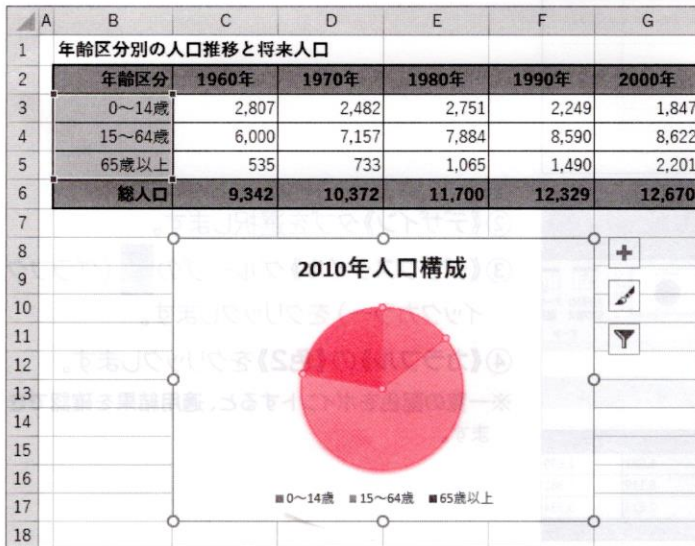
グラフ要素の色の変更

グラフエリアやデータ要素の色を個別に設定する方法は、次のとおりです。

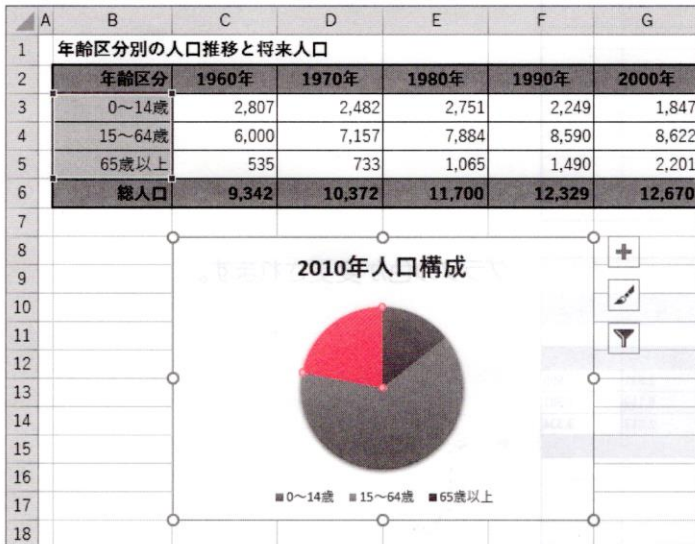
◆グラフ要素を選択→《書式》タブ→《図形のスタイル》グループの (図形の塗りつぶし) の

7 切り離し円の作成

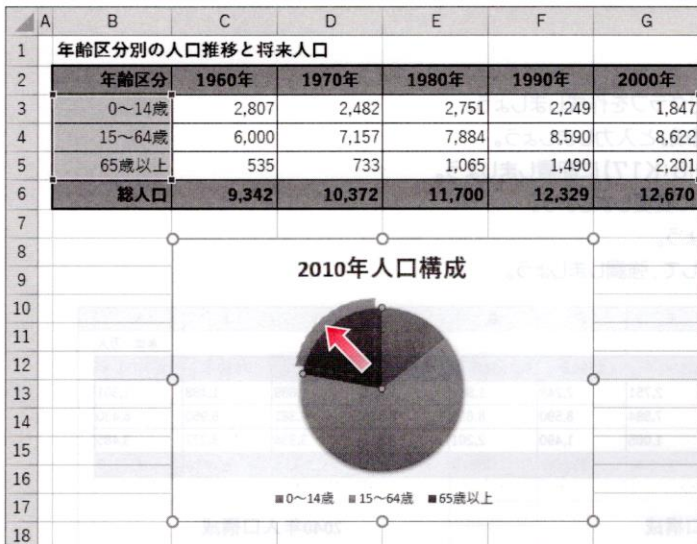
円グラフの一部を切り離すことで、円グラフの中で特定のデータ要素を強調できます。データ要素「65歳以上」を切り離して、強調しましょう。



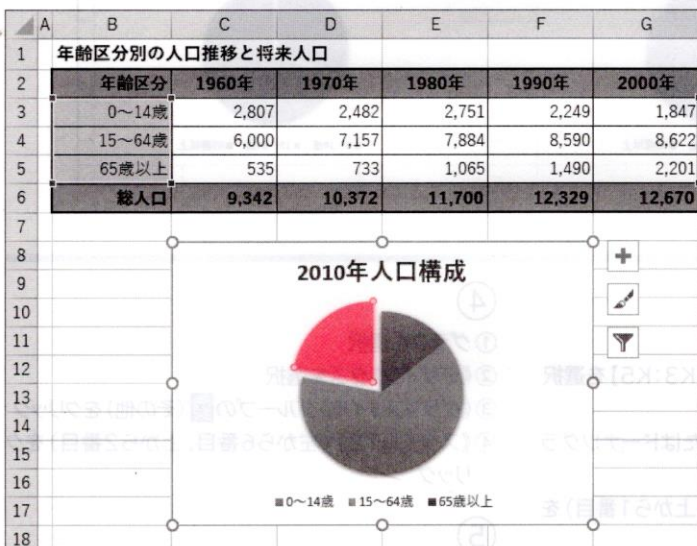
①円の部分をクリックします。
データ系列が選択されます。



②図の扇型の部分をクリックします。
※ポップヒントに《系列1 要素"65歳以上"・・・》と表示されることを確認してクリックしましょう。
データ要素「65歳以上」が選択されます。



③図のように円の外側にドラッグします。



データ要素「65歳以上」が切り離されます。

POINT ▶▶▶

データ要素の選択

円グラフの円の部分をクリックすると、データ系列が選択されます。続けて、円の中の扇型をクリックすると、データ系列の中のデータ要素がひとつだけ選択されます。

POINT ▶▶▶

グラフの更新

グラフは、もともになるセル範囲と連動しています。もともになるデータを変更すると、グラフも自動的に更新されます。

グラフの印刷

グラフを選択した状態で印刷を実行すると、グラフだけが用紙いっぱいに印刷されます。セルを選択した状態で印刷を実行すると、シート上の表とグラフが印刷されます。

グラフの削除

シート上に作成したグラフを削除するには、グラフを選択して **[Delete]** を押します。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
総合問題
付録1
付録2
付録3
付録4
索引

Let's Try

ためしてみよう

- ① 2040年の数値をもとに同様の円グラフを作成しましょう。
- ② グラフタイトルに「2040年人口構成」と入力しましょう。
- ③ ①で作成したグラフをセル範囲【H8:K17】に配置しましょう。
- ④ グラフのスタイルを「スタイル12」に変更しましょう。
- ⑤ グラフの色を「色2」に変更しましょう。
- ⑥ データ要素「65歳以上」を切り離して、強調しましょう。

1	年齢区分別の人口推移と将来人口										単位：万人
2	年齢区分	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年	
3	0～14歳	2,807	2,482	2,751	2,249	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301	
4	15～64歳	6,000	7,157	7,884	8,590	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430	
5	65歳以上	535	733	1,065	1,490	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485	
6	総人口	9,342	10,372	11,700	12,329	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216	

2010年人口構成

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上

2040年人口構成

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上

Let's Try Answer

①

- ① セル範囲【B3:B5】を選択
- ② **[Ctrl]**を押しながら、セル範囲【K3:K5】を選択
- ③ 《挿入》タブを選択
- ④ 《グラフ》グループの (円またはドーナツグラフの挿入)をクリック
- ⑤ 《2-D円》の《円》(左から1番目、上から1番目)をクリック

②

- ① グラフタイトルをクリック
- ② グラフタイトルを再度クリック
- ③ 「グラフタイトル」を削除し、「2040年人口構成」と入力
- ④ グラフタイトル以外の場所をクリック

③

- ① グラフエリアをドラッグし、移動(目安:セル【H8】)
- ② グラフエリア右下をドラッグし、サイズを変更(目安:セル【K17】)

④

- ① グラフを選択
- ② 《デザイン》タブを選択
- ③ 《グラフスタイル》グループの (その他)をクリック
- ④ 《スタイル12》(左から6番目、上から2番目)をクリック

⑤

- ① グラフを選択
- ② 《デザイン》タブを選択
- ③ 《グラフスタイル》グループの (グラフクイックカラー)をクリック
- ④ 《カラフル》の《色2》(上から2番目)をクリック

⑥

- ① 円の部分ををクリック
- ② 「65歳以上」の扇型の部分ををクリック
- ③ 円の外側にドラッグ

Step 4

縦棒グラフを作成する

1 縦棒グラフの作成

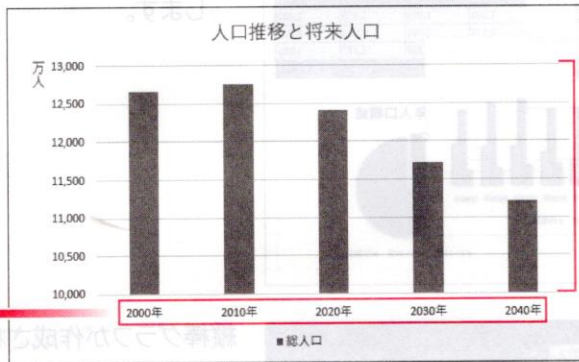
「縦棒グラフ」は、ある期間におけるデータの推移を大小関係で表現するときに使います。縦棒グラフを作成しましょう。

1 セル範囲の選択

グラフを作成する場合、まず、グラフのもとになるセル範囲を選択します。縦棒グラフの場合、次のようにセル範囲を選択します。

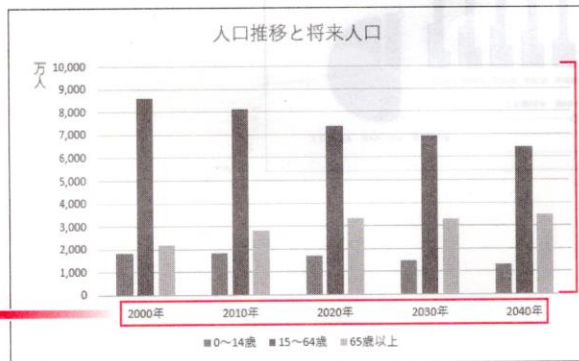
●縦棒の種類がひとつの場合

年齢区分	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
0～14歳	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
15～64歳	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
65歳以上	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485
総人口	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216



●縦棒の種類が複数の場合

年齢区分	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
0～14歳	1,847	1,831	1,699	1,488	1,301
15～64歳	8,622	8,119	7,381	6,950	6,430
65歳以上	2,201	2,813	3,334	3,277	3,485
総人口	12,670	12,763	12,414	11,715	11,216



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録 1

付録 2

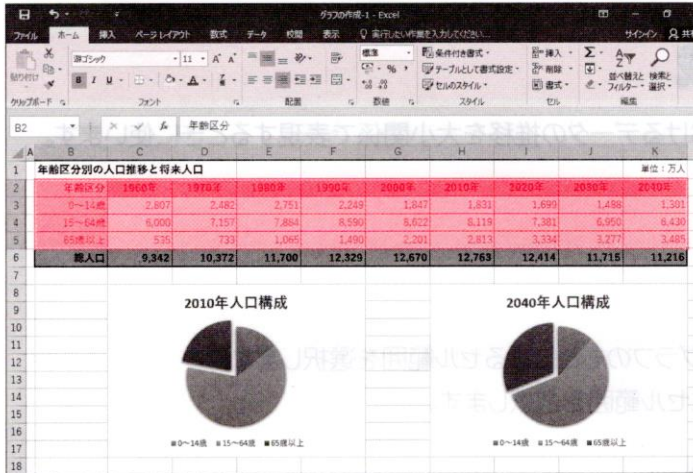
付録 3

付録 4

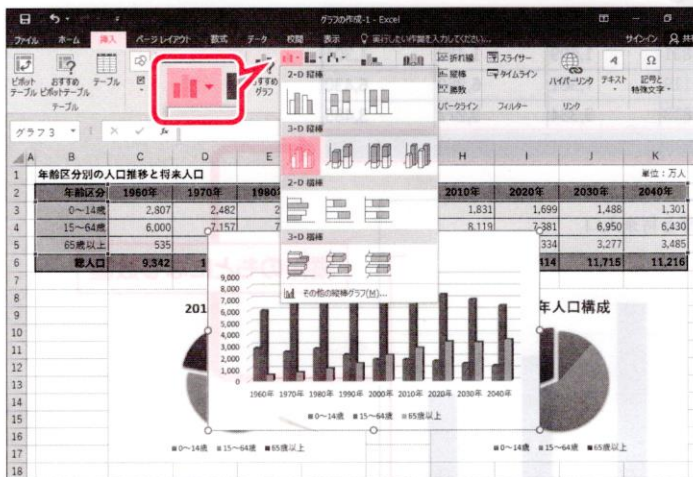
索引

2 縦棒グラフの作成

表のデータをもとに、「年齢区別の人口構成の推移」を表す縦棒グラフを作成しましょう。



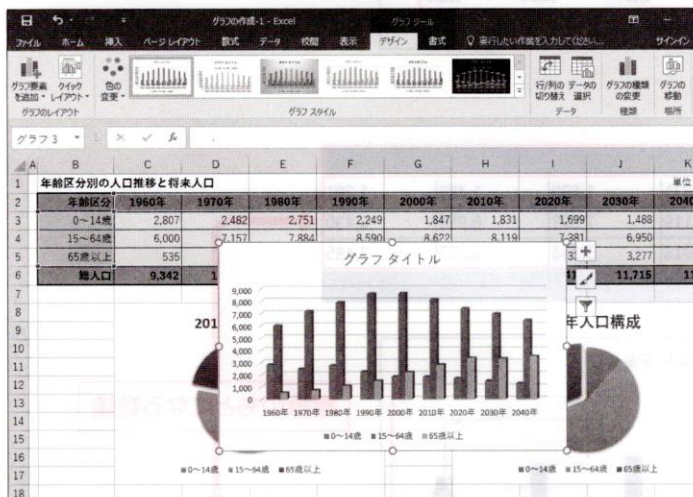
①セル範囲【B2:K5】を選択します。



②《挿入》タブを選択します。

③《グラフ》グループの (縦棒/横棒グラフの挿入) をクリックします。

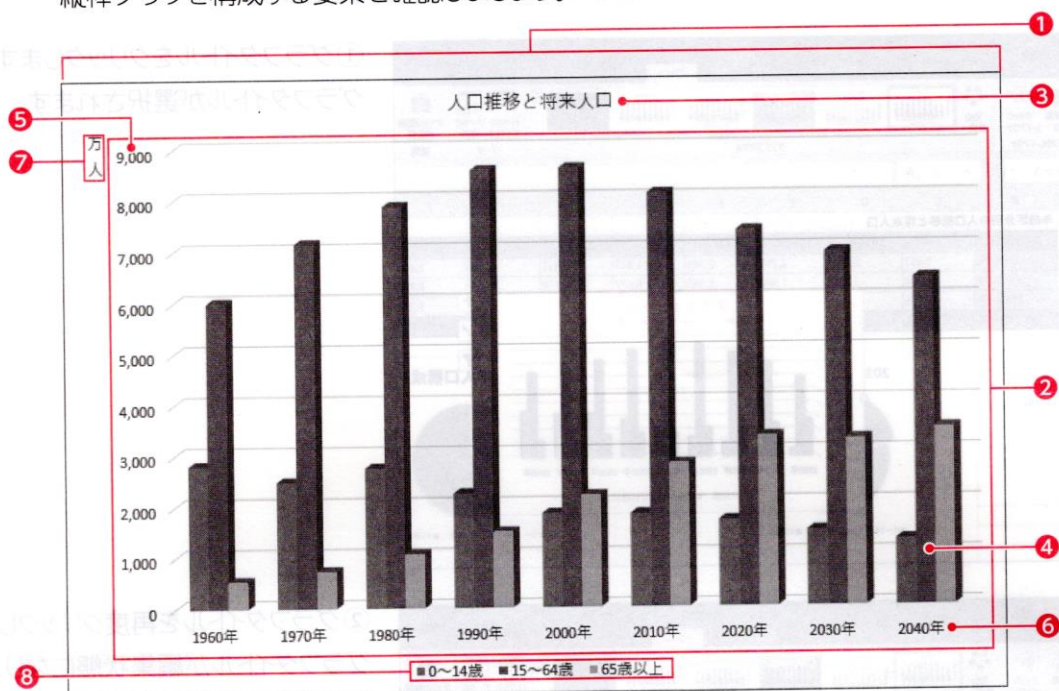
④《3-D縦棒》の《3-D集合縦棒》をクリックします。



縦棒グラフが作成されます。

2 縦棒グラフの構成要素

縦棒グラフを構成する要素を確認しましょう。



① グラフエリア

グラフ全体の領域です。すべての要素が含まれます。

② プロットエリア

縦棒グラフの領域です。

③ グラフタイトル

グラフのタイトルです。

④ データ系列

もとになる数値を視覚的に表す棒です。

⑤ 値軸

データ系列の数値を表す軸です。

⑥ 項目軸

データ系列の項目を表す軸です。

⑦ 軸ラベル

軸を説明する文字列です。

⑧ 凡例

データ系列に割り当てられた色を識別するための情報です。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

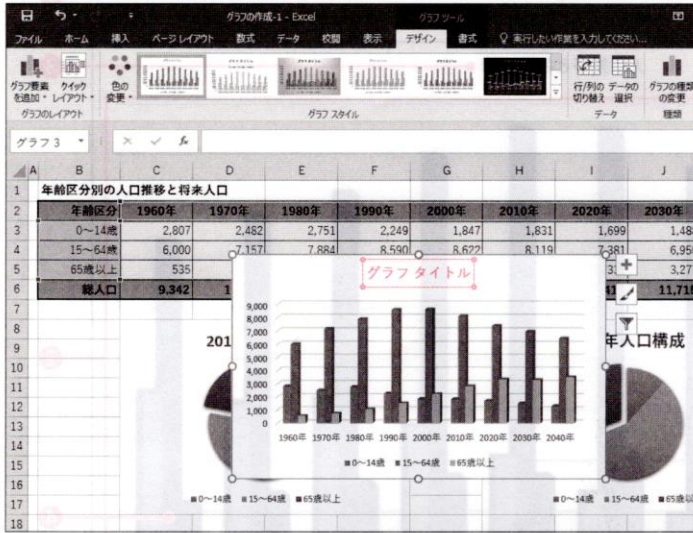
付録3

付録4

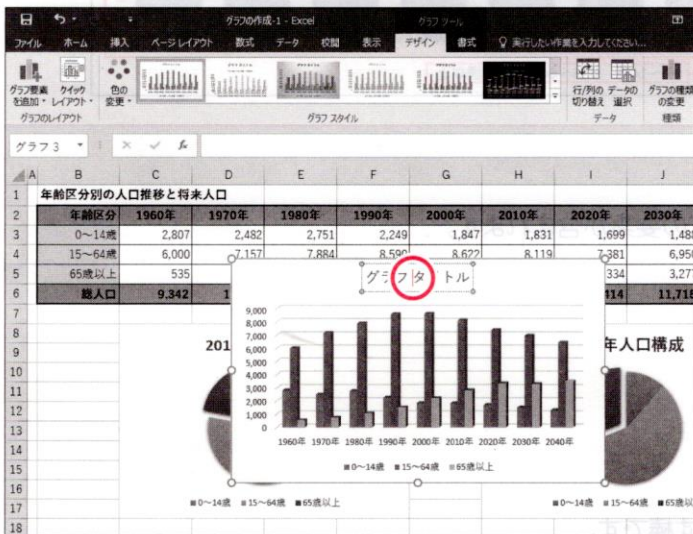
索引

3 グラフタイトルの入力

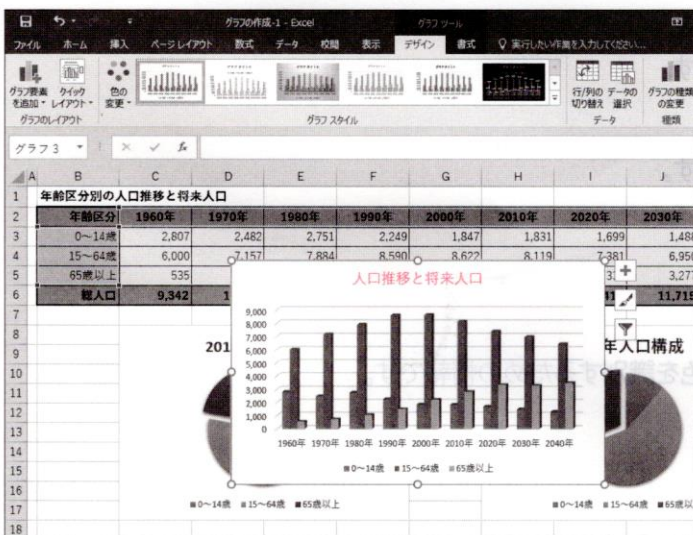
グラフタイトルに「人口推移と将来人口」と入力しましょう。



① グラフタイトルをクリックします。
グラフタイトルが選択されます。



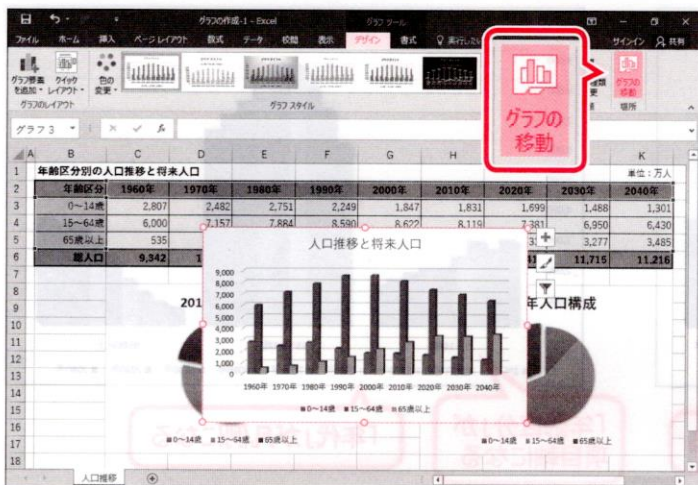
② グラフタイトルを再度クリックします。
グラフタイトルが編集状態になり、カーソルが表示されます。




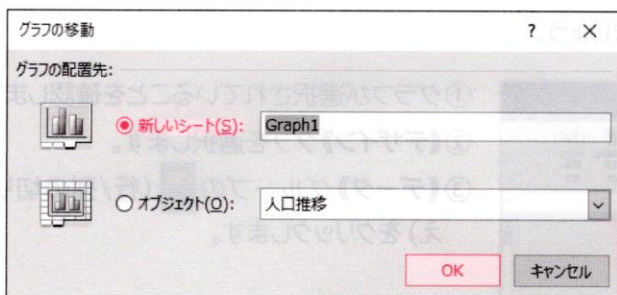
③ 「グラフタイトル」を削除し、「人口推移と将来人口」と入力します。
④ グラフタイトル以外の場所をクリックします。
グラフタイトルが確定されます。

4 グラフの場所の変更

シート上に作成したグラフを、「グラフシート」に移動できます。グラフシートとは、グラフ専用のシートで、シート全体にグラフを表示します。
シート上のグラフをグラフシートに移動しましょう。

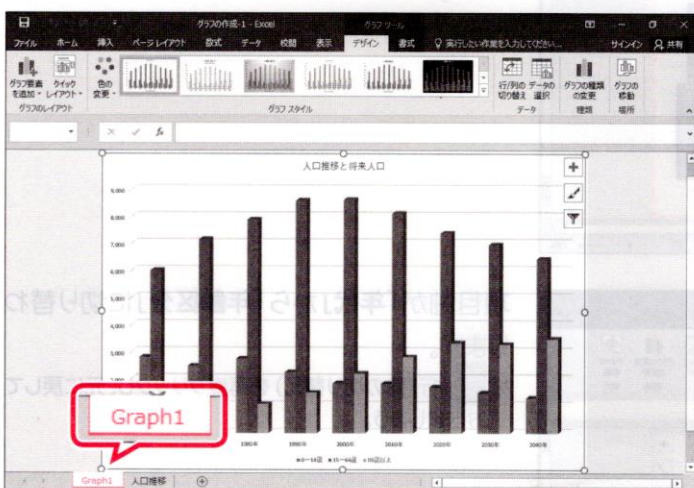


- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② 《デザイン》タブを選択します。
- ③ 《場所》グループの  (グラフの移動) をクリックします。



《グラフの移動》ダイアログボックスが表示されます。

- ④ 《新しいシート》を にします。
- ⑤ 《OK》をクリックします。



シート「Graph1」が挿入され、グラフの場所が移動します。

その他の方法(グラフの場所の変更)

STEP UP ◆ グラフエリアを右クリック→《グラフの移動》

埋め込みグラフ

STEP UP シート上に作成されるグラフは「埋め込みグラフ」といいます。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

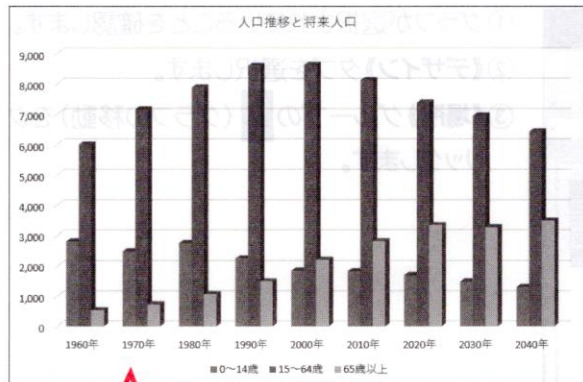
付録4

索引

5 行/列の切り替え

もともになるセル範囲のうち、行の項目を基準にするか、列の項目を基準にするかを選択できます。

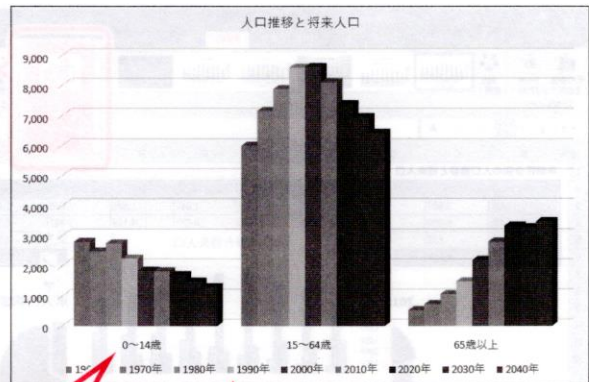
●「年代」を基準にする



「年代」が項目軸になる

「年齢区分」が凡例になる

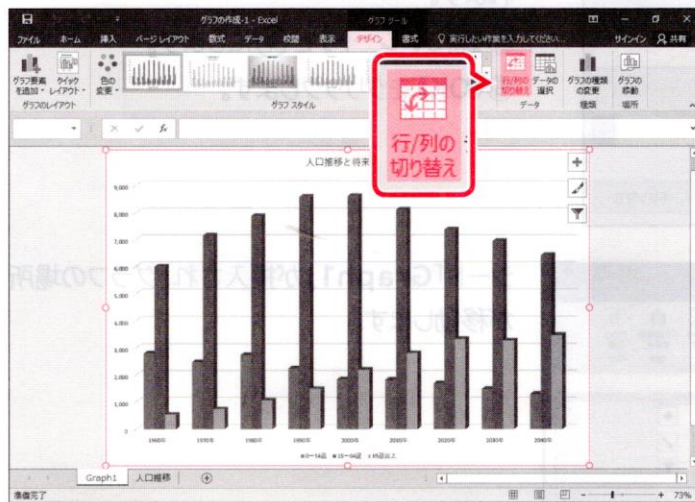
●「年齢区分」を基準にする



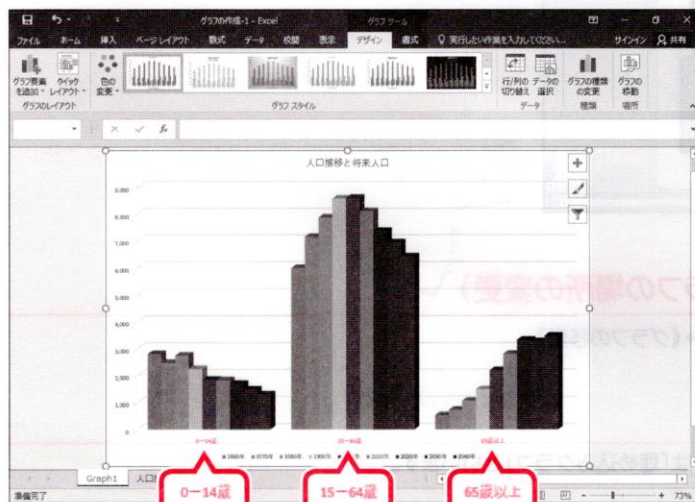
「年齢区分」が項目軸になる

「年代」が凡例になる

行の項目と列の項目を切り替えましょう。



- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② 《デザイン》タブを選択します。
- ③ 《データ》グループの (行/列の切り替え) をクリックします。

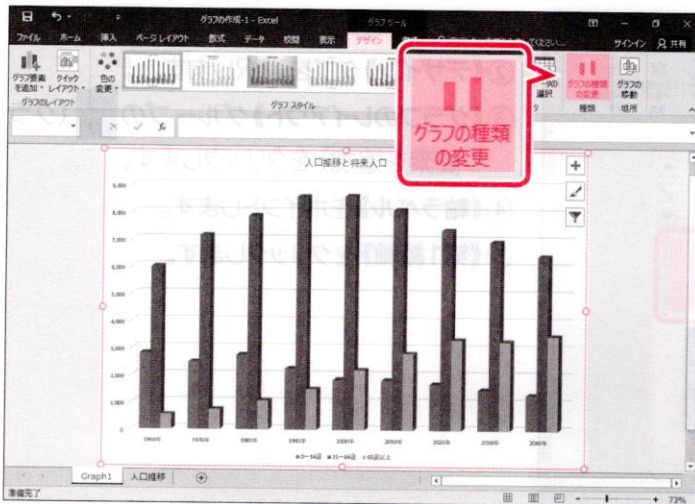



- 項目軸が「年代」から「年齢区分」に切り替わります。
- ※ (行/列の切り替え) を再度クリックし、元に戻しておきましょう。

6 グラフの種類の変更

グラフを作成したあとに、グラフの種類を変更できます。

グラフの種類を「3-D積み上げ縦棒」に変更しましょう。

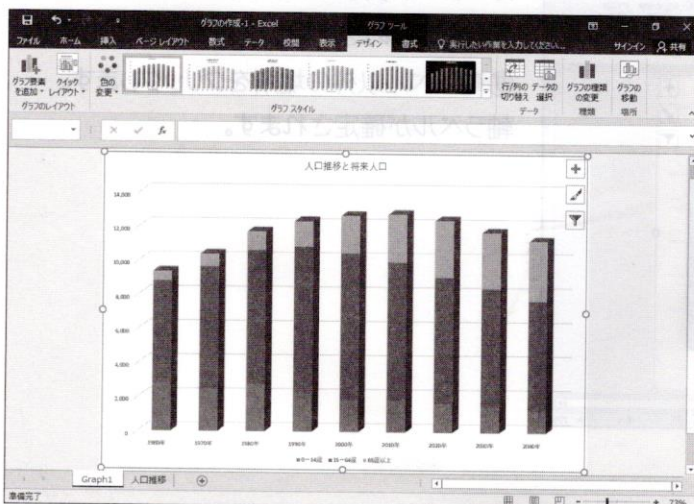


- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② 《デザイン》タブを選択します。
- ③ 《種類》グループの  (グラフの種類の変更) をクリックします。



《グラフの種類の変更》ダイアログボックスが表示されます。

- ④ 《すべてのグラフ》タブを選択します。
- ⑤ 左側の一覧から《縦棒》が選択されていることを確認します。
- ⑥ 右側の一覧から《3-D積み上げ縦棒》を選択します。
- ⑦ 《OK》をクリックします。



グラフの種類が変更されます。

その他の方法 (グラフの種類の変更)

- ◆ グラフエリアを右クリック→《グラフの種類の変更》

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

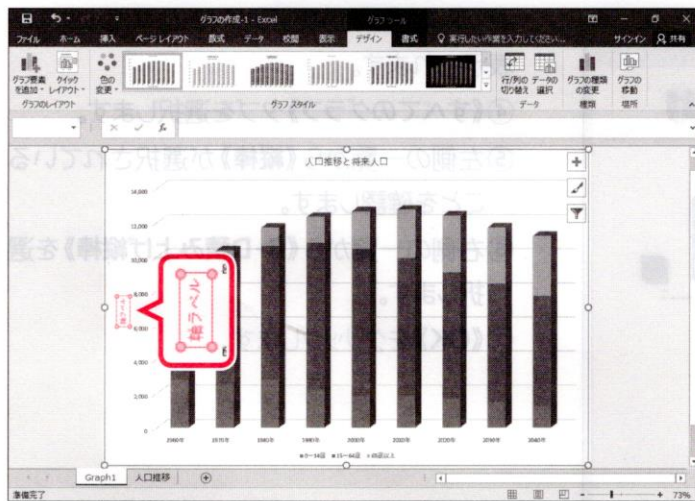
索引

7 グラフ要素の表示

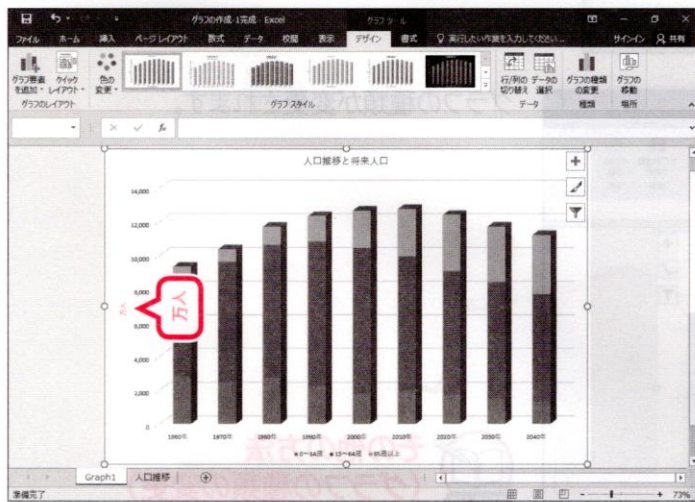
グラフに、必要なグラフ要素が表示されていない場合は、個別に配置します。
値軸の軸ラベルを表示しましょう。



- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② 《デザイン》タブを選択します。
- ③ 《グラフのレイアウト》グループの (グラフ要素を追加) をクリックします。
- ④ 《軸ラベル》をポイントします。
- ⑤ 《第1縦軸》をクリックします。



- 軸ラベルが表示されます。
- ⑥ 軸ラベルが選択されていることを確認します。



- ⑦ 軸ラベルをクリックします。
カーソルが表示されます。
- ⑧ 「軸ラベル」を削除し、「万人」と入力します。
- ⑨ 軸ラベル以外の場所をクリックします。
軸ラベルが確定されます。



その他の方法(軸ラベルの表示)

- ◆ グラフを選択→ショートカットツールの (グラフ要素) → 《軸ラベル》をポイント→ をクリック→ 第1横軸 または 第1縦軸

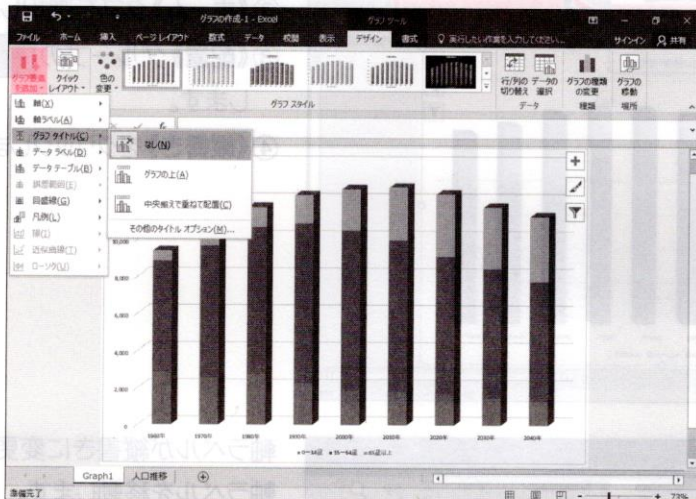


POINT ▶▶▶

グラフ要素の非表示

グラフ要素を非表示にする方法は、次のとおりです。

- ◆ グラフを選択→《デザイン》タブ→《グラフのレイアウト》グループの (グラフ要素を追加) → グラフ要素名をポイント→一覧から非表示にしたいグラフ要素を選択または《なし》をクリック

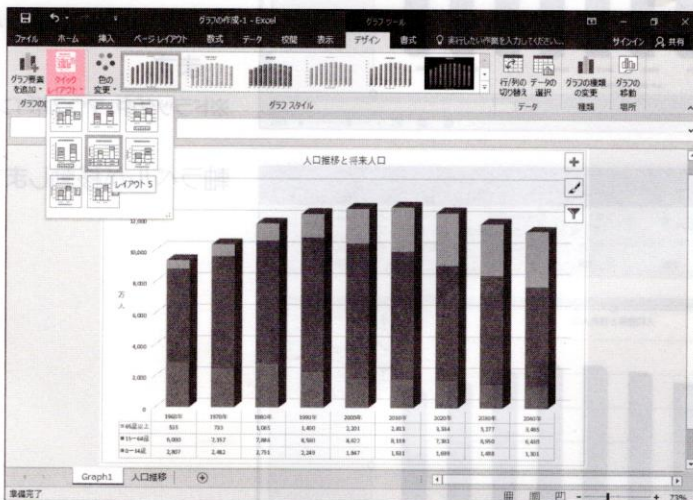


グラフのレイアウトの設定

Excelのグラフには、あらかじめいくつかの「レイアウト」が用意されており、それぞれ表示されるグラフ要素やその配置が異なります。

レイアウトを使って、グラフ要素の表示や配置を設定する方法は、次のとおりです。

- ◆ グラフを選択→《デザイン》タブ→《グラフのレイアウト》グループの (クイックレイアウト) → 一覧から選択



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

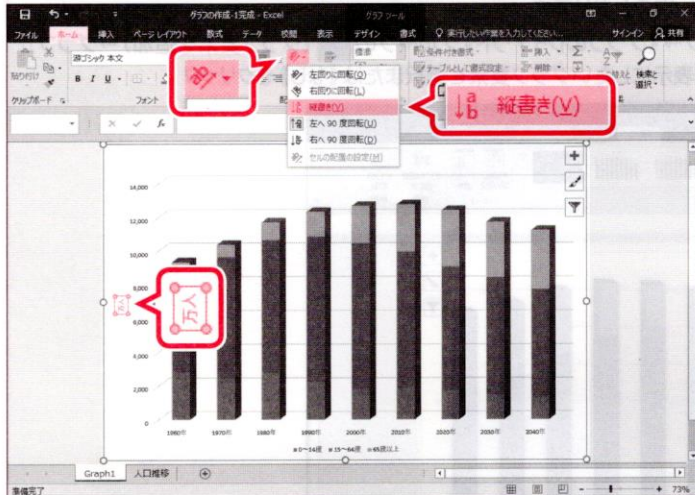
索引


8 グラフ要素の書式設定

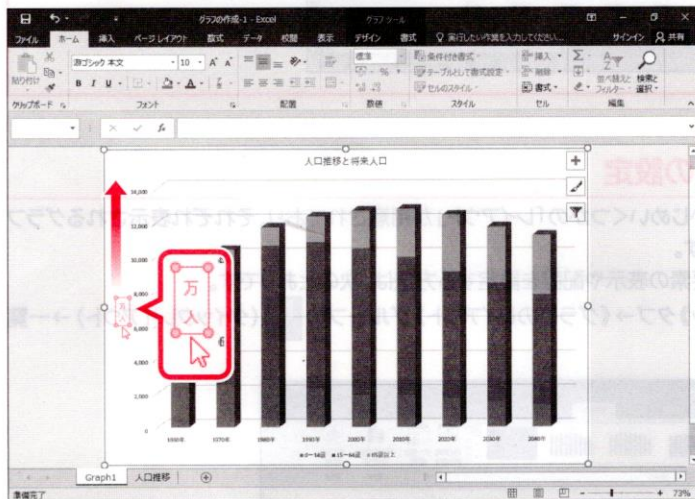
グラフの各要素に対して、個々に書式を設定できます。




1 軸ラベルの書式設定

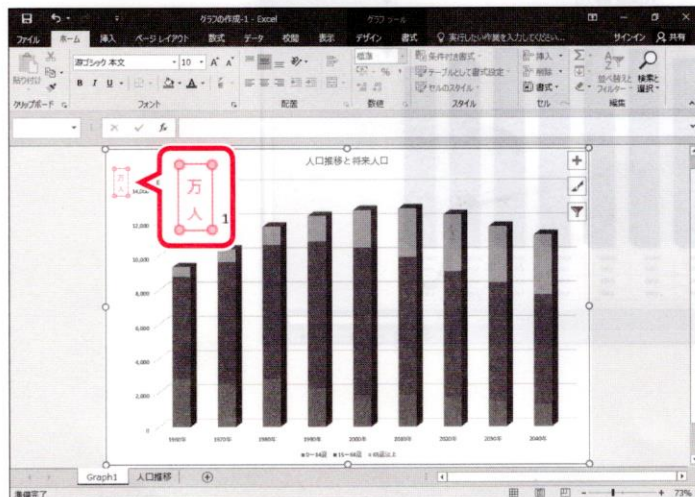
値軸の軸ラベルを縦書きに変更し、移動しましょう。



- ① 軸ラベルをクリックします。
軸ラベルが選択されます。
- ② 《ホーム》タブを選択します。
- ③ 《配置》グループの  (方向) をクリックします。
- ④ 《縦書き》をクリックします。



- 軸ラベルが縦書きに変更されます。
軸ラベルを移動します。
- ⑤ 軸ラベルが選択されていることを確認します。
 - ⑥ 軸ラベルの枠線をポイントします。
マウスポインターの形が  に変わります。
※軸ラベルの枠線内をポイントすると、マウスポインターの形が  になり、文字列の選択になるので注意しましょう。
 - ⑦ 図のように、軸ラベルの枠線をドラッグします。
※ドラッグ中、マウスポインターの形が  に変わります。

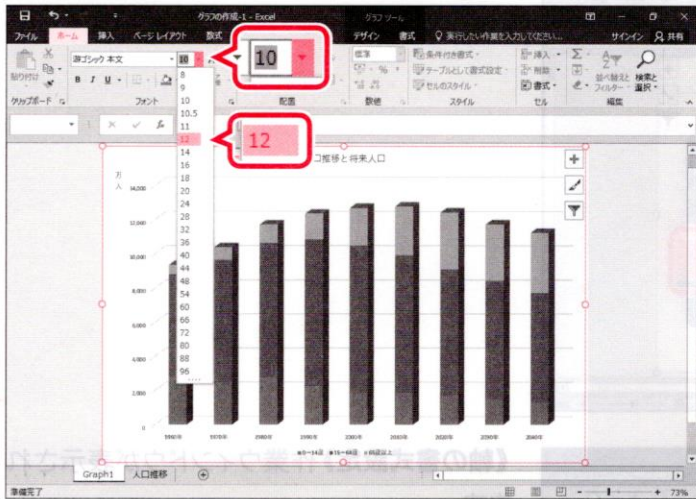


軸ラベルが移動します。

2 グラフエリアの書式設定

グラフエリアのフォントサイズを12ポイントに変更しましょう。

グラフエリアのフォントサイズを変更すると、グラフエリア内の凡例や軸ラベルなどのフォントサイズが変更されます。

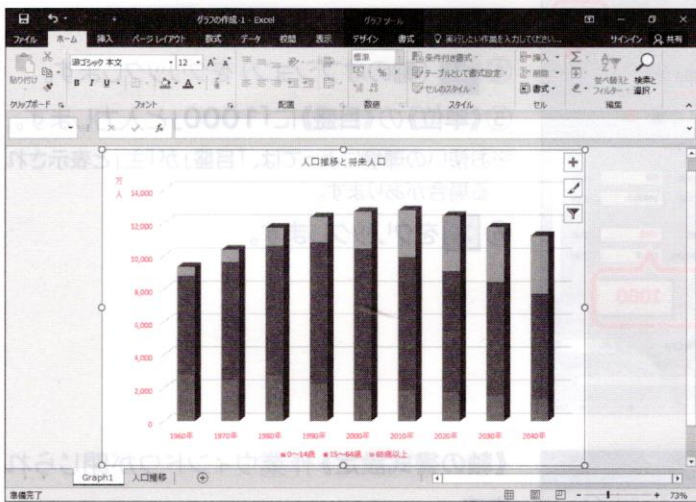


① グラフエリアをクリックします。

グラフエリアが選択されます。

② 《ホーム》タブを選択します。

③ 《フォント》グループの **10** (フォントサイズ) の **▼** をクリックし、一覧から **《12》** を選択します。



グラフエリアのフォントサイズが変更されます。

Let's Try

ためしてみよう

グラフタイトルのフォントサイズを18ポイントに変更しましょう。

Let's Try Answer

- ① グラフタイトルをクリック
- ② 《ホーム》タブを選択
- ③ 《フォント》グループの **14.4** (フォントサイズ) の **▼** をクリックし、一覧から **《18》** を選択

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

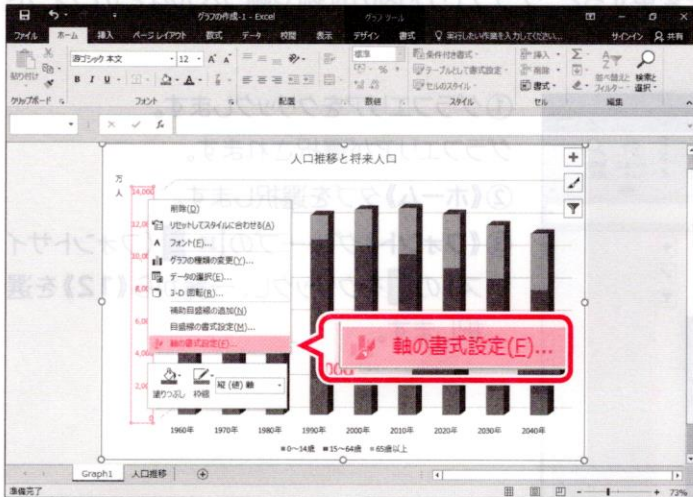
付録3

付録4

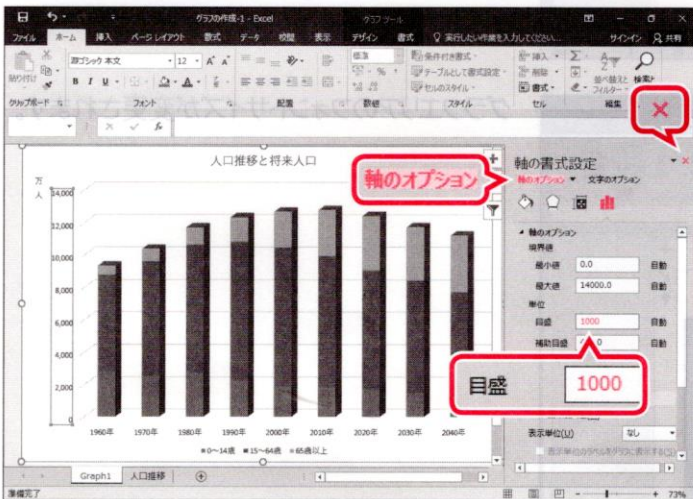
索引



3 値軸の書式設定

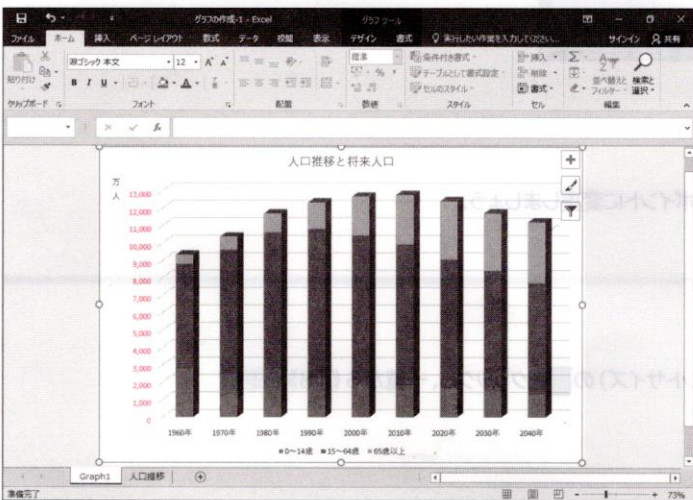
値軸の目盛間隔を1,000単位に変更しましょう。



- ① 値軸を右クリックします。
- ② 《軸の書式設定》をクリックします。




- 《軸の書式設定》作業ウィンドウが表示されます。
- ③ 《軸のオプション》をクリックします。
 - ④  (軸のオプション) をクリックします。
 - ⑤ 《単位》の《目盛》に「1000」と入力します。
※お使いの環境によっては、「目盛」が「主」と表示される場合があります。
 - ⑥  をクリックします。



《軸の書式設定》作業ウィンドウが閉じられます。
目盛間隔が1,000単位になります。



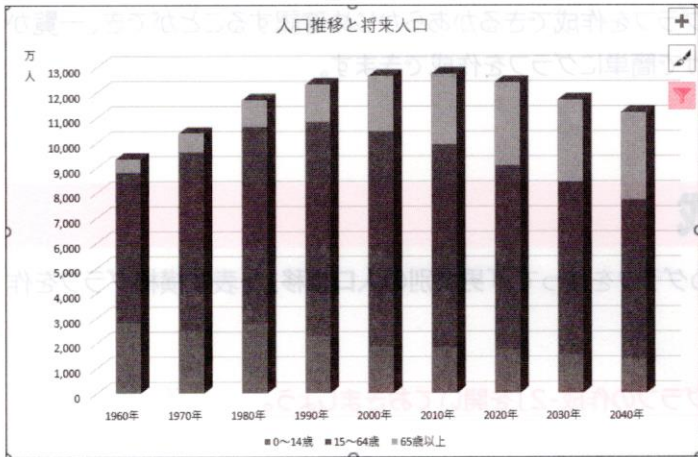
その他の方法(グラフ要素の書式設定)


- ◆ グラフ要素を選択→《書式》タブ→《現在の選択範囲》グループの  《選択対象の書式設定》(選択対象の書式設定)
- ◆ グラフ要素をダブルクリック

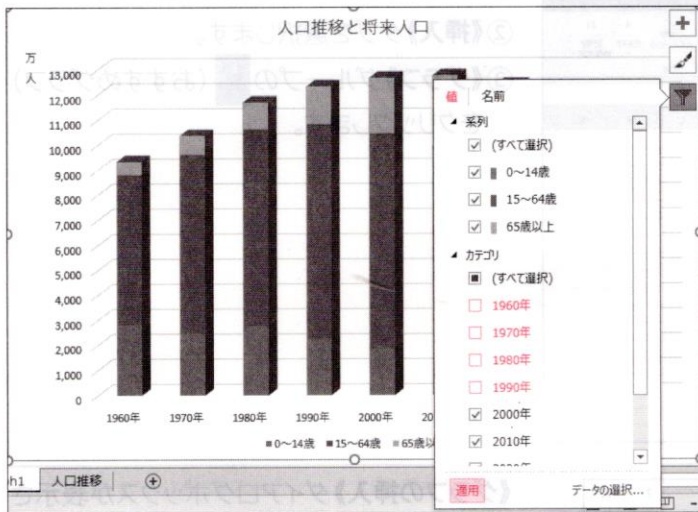
9 グラフフィルターの利用

「グラフフィルター」を使うと、グラフを作成したあとに、グラフに表示するデータ系列を絞り込むことができます。選択したデータだけがグラフに表示され、選択していないデータは一時的に非表示になります。

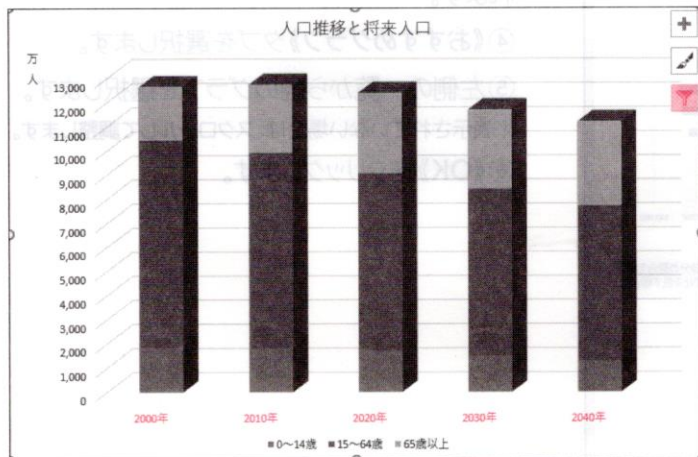
グラフのデータ系列を2000年以降に絞り込みましょう。




- ① グラフが選択されていることを確認します。
- ② ショートカットツールの  (グラフフィルター) をクリックします。



- ③ 《値》をクリックします。
- ④ 《カテゴリ》の「1960年」「1970年」「1980年」「1990年」を にします。
- ⑤ 《適用》をクリックします。



- ⑥  (グラフフィルター) をクリックします。
※ **[Esc]** を押してもかまいません。
グラフのデータ系列が2000年以降に絞り込まれます。
※ブックに「グラフの作成-1完成」と名前を付けて、フォルダー「第7章」に保存し、閉じておきましょう。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録1

付録2

付録3

付録4

索引

おすすめグラフを作成する

1 おすすめグラフ

「おすすめグラフ」を使うと、選択しているデータに適した数種類のグラフが表示されます。選択したデータでどのようなグラフを作成できるかあらかじめ確認することができ、一覧から適切なグラフを選択するだけで簡単にグラフを作成できます。

2 横棒グラフの作成

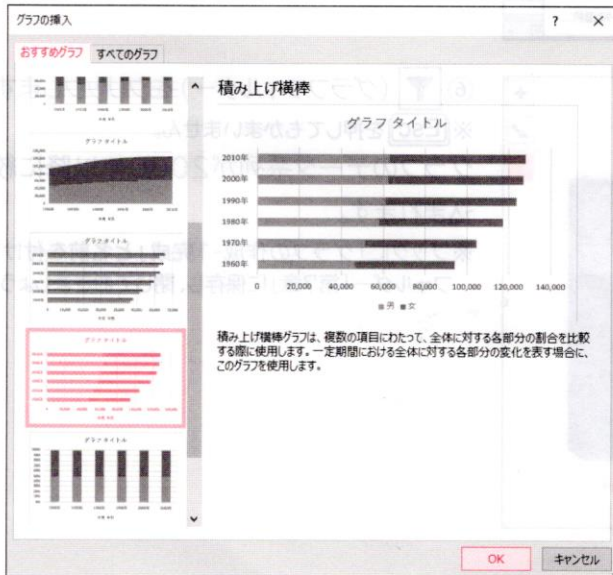
表のデータをもとに、おすすめグラフを使って、「男女別の人口推移」を表す横棒グラフを作成しましょう。



フォルダー「第7章」のブック「グラフの作成-2」を開いておきましょう。

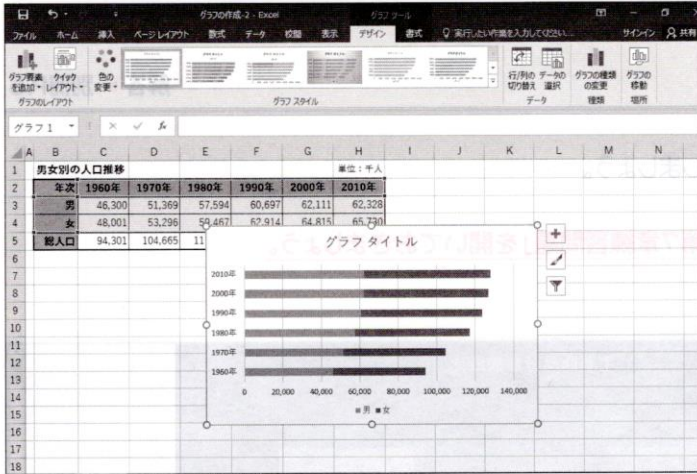
年次	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年
男	46,300	51,369	57,594	60,697	62,111	62,328
女	46,001	53,296	59,467	62,914	64,815	65,730
総人口	94,301	104,665	117,061	123,611	126,926	128,058

- ①セル範囲【B2:H4】を選択します。
- ②《挿入》タブを選択します。
- ③《グラフ》グループの「おすすめグラフ」をクリックします。



《グラフの挿入》ダイアログボックスが表示されます。

- ④《おすすめグラフ》タブを選択します。
- ⑤左側の一覧から図のグラフを選択します。
※表示されていない場合は、スクロールして調整します。
- ⑥《OK》をクリックします。



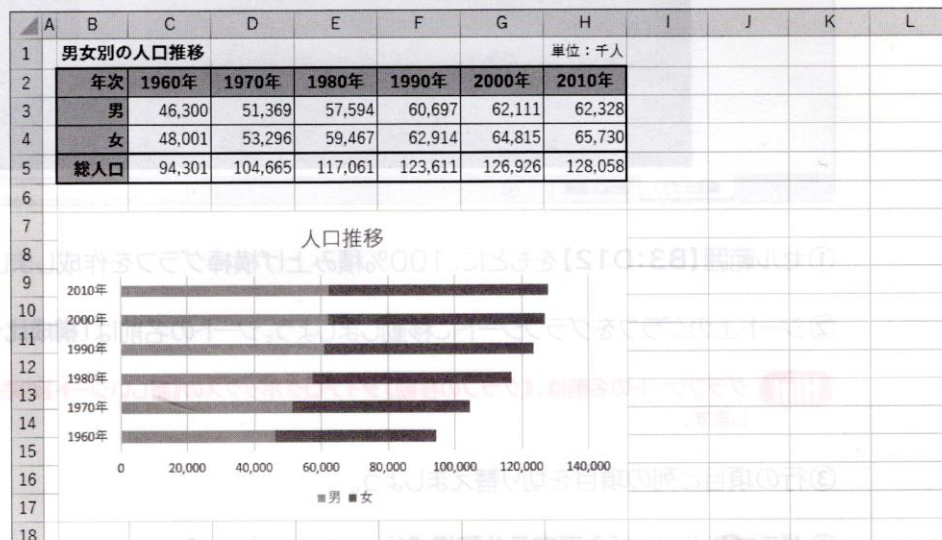
横棒グラフが作成されます。



Let's Try

ためしてみよう

次のようにグラフを編集しましょう。



- ① グラフタイトルに「人口推移」と入力しましょう。
- ② 上の図を参考に、グラフの位置とサイズを調整しましょう。

Let's Try Answer

①

- ① グラフタイトルをクリック
- ② グラフタイトルを再度クリック
- ③ 「グラフタイトル」を削除し、「人口推移」と入力
- ④ グラフタイトル以外の場所をクリック

②

- ① グラフエリアをドラッグし、移動(目安:セル【B7】)
- ② グラフエリア右下をドラッグし、サイズを変更(目安:セル【H17】)

※ブックに「グラフの作成-2完成」と名前を付けて、フォルダー「第7章」に保存し、閉じておきましょう。

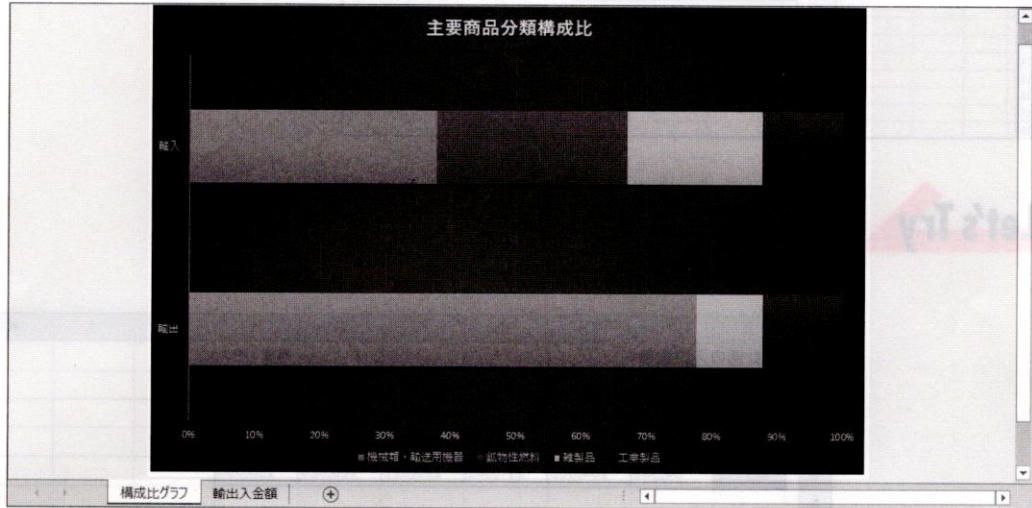
1
2
3
4
5
6
7
8
9
総合問題
付録1
付録2
付録3
付録4
索引



完成図のようなグラフを作成しましょう。

フォルダー「第7章」のブック「第7章練習問題」を開いておきましょう。

●完成図



- ① セル範囲【B3:D12】をもとに、100%積み上げ横棒グラフを作成しましょう。
 - ② シート上のグラフをグラフシートに移動しましょう。シートの名前は「**構成比グラフ**」にします。
- Hint** グラフシートの名前は、《グラフの移動》ダイアログボックスの《新しいシート》の右側のボックスで変更します。
- ③ 行の項目と列の項目を切り替えましょう。
 - ④ グラフタイトルに「**主要商品分類構成比**」と入力しましょう。
 - ⑤ グラフのスタイルを「**スタイル8**」に変更しましょう。
 - ⑥ グラフの色を「**色4**」に変更しましょう。
 - ⑦ グラフエリアのフォントサイズを11ポイント、グラフタイトルのフォントサイズを18ポイントに変更しましょう。
 - ⑧ グラフのデータ系列を「**機械類・輸送用機器**」「**鉱物性燃料**」「**雑製品**」「**工業製品**」に絞り込みましょう。

※ブックに「第7章練習問題完成」と名前を付けて、フォルダー「第7章」に保存し、閉じておきましょう。